

9th Biomass Pellets Trade & Power

2018年5月14～17日 / 東京
東京マリオットホテル

プラチナスポンサー



企業スポンサー



主催



www.cmtevents.com

2018年5月14日(月)

～本会議とは別途で予約可能～

事前ワークショップ
厳しい市場におけるバイオマスの調達
- 利用できるものとは？ そのコストとは？

09:30 ワークショップ受付

10:00 木質バイオマス及びパーム椰子殻(PKS)において現実的に利用可能な資源と可能性の概略
Matt Boveland, Senior Consultant Bio Solutions Indufor

世界における資源のホットスポット(オセアニア、インドネシア、カナダ・極東ロシア)

10:30 オセアニア—既存の森林資源におけるレパレッジの可能性
Michael Barbara, Associate Director, Investments New Forests

11:00 インドネシア—木材、KS&EFBの国内利用が高い国におけるアグリゲーションの課題
Tony Wood, Partner, Ata Marie

11:30 カナダ—ヨーロッパの需要が高まる中、アジアでは？
Scott Bax, Senior Vice-President, Operations Pinnacle Renewable Energy

12:00 極東ロシア—物流の課題、極東ロシア資源の可能性と起こりうること
Roman Romanovsky, Vice President, Business Development Russia Forest Products (RFP)

12:30 昼食

13:30 更なる植林の可能性を持つ地域、見込み価格帯、地域ごとの競争性、北アジアへの設立・流通のタイムライン
Andrew Crisp, Head of Forestry Consulting Practice for Asia, Pöyry

14:10 日本と韓国—政策により構築されるバイオマスの需要と基準、機会および課題
Yong Cheul Shin, Director of Energy & Infra Team 2, Korea Ratings
Dr. Takanobu Aikawa, Senior Researcher Renewable Energy Institute

15:10 日本・韓国へのバイオマス輸出における物流経済学・海運経済学
Owen Mulford, General Manager, J. Lauritzen

15:40 パネルディスカッション—今後の展望:バイオマス資源はどこから来て、どのような形で費用はどのくらいかかるのか

16:45 まとめ・事前ワークショップ終了

2018年5月15日(火)

本会議 第1日目

08:00 受付・コーヒータイム

09:00 司会者による歓迎のあいさつ
Yoshinobu Kusano, Executive Advisor, RENOVA

09:10 日本のバイオマス発電の最新情報と輸入の見通し
・ FIT及び再生可能エネルギー政策の近況とバイオマス発電における変化等
・ 日本国内のバイオマスエネルギープロジェクトの最新情報とバイオマス需要の容量
Issei Sawa, Deputy President Biomass Power Association

09:40 韓国の独立系発電事業者(IPP)及び混合燃焼プロジェクト・容量の最新情報とウッドペレット輸入の必須条件
Seokyoung Yoon, Manager, Fuel Part/Purchasing Team, Hanwha Energy Corp.

10:10 台湾のバイオマス発電開発—政策、規制及び市場の展望
Roger Chang, Consultant Prime Oil Chemical Service Corp.

10:40 交流・休憩@バイオマスペレットトレード・発電の展示会

11:20 カナダの木質ペレット輸出業者はヨーロッパを断念しアジアへ転じるか？
・ 日本によるカナダ製品への投資
・ 各市場へのカナダの関与および変化を引き起こす要素
・ ヨーロッパとアジア間における裁定取引
Paul Kalil, Vice President - Capital Projects Pacific BioEnergy Corp.

11:50 日本における米国供給資源の競争性
Fred Miyata, General Manager, Business Development - Asia Pacific, Sales and Marketing Enviva

12:20 アジア及びヨーロッパでの木質ペレットスポット市場の発展
・ 価格を決めるものとは？
・ 双方の地域においてスポット市場はどのくらい流動しているのか？
・ サプライヤー及びエンドユーザーに対する主要な課題とは？
Brodie Govan, Biomass Broker, Voyage Power Ltd

12:45 ディスカッション・交流会・昼食会

14:00 午後の部開始のご挨拶
Vaughan Bassett, Senior Vice President, Sales & Logistics, Pinnacle Renewable Energy

14:05 日本のバイオマス(木質ペレット、PKS、ウッドチップ)のニーズに応じる
・ 日本におけるバイオマス需要の算定(数量及びタイムライン)
・ 国産及び輸入されたバイオマスの実現性を探求
・ 現在の日本へのバイオマストレード・輸入の成長と物流・保管
Yasuhisa Okamoto, Manager Biomass Team Sumitomo Corporation

14:35 日本のバイオマス輸送と物流
Shuji Aoki, Manager of Coal & Biomass Team, Business Group No. 1
Yusuke Ito, Manager of Asia/Oceania Team Business Group 2, NYK Bulk & Projects Carrier

15:05 港を通して木質ペレットを取り扱うことについての考察
・ 保管、コスト、ペレット耐久性及び海運での取り扱いに影響すること
・ アジアの受入ターミナルを改良することについて
Kerry Lige, President and CEO, Fibreco Export

15:35 交流・休憩@バイオマスペレットトレード・発電の展示会

16:15 木材チップスがペレット/ PKSと競合することはできるのか？ エネルギーとパルプ/紙の市場間の相互作用

・ アジア太平洋地域の木材チップ(パルプ&エネルギー)の既存貿易
・ 主要供給地域と輸出のキャパシティー
・ 地域別のウッドチップのコストとペレットとPKSの比較の方法
・ 商業的な要因と供給の安全性、パルプとエネルギーの両方のバイヤーに十分な木材があるのか？
Fiona Matthews, Research Manager (Bioenergy) Hawkins Wright Ltd.

16:45 バイオマスサプライ市場がどのようにグローバル化しているのか、また、それはアジア・ヨーロッパの木質ペレットバイヤーにとって何を意味するのか
・ 2018年はなぜ2017年と違うのか
・ ヨーロッパ及びアジアへの木質ペレットフロー
・ ヨーロッパ、日本、韓国に適した製品について
Henry Pease, Biomass Trader RWE Supply & Trading

17:20 今日あったかと思えば明日にはなくなる:自由競争の環境で持続可能なバイオマス資源の発見に関する課題と解決策
課題
・ 問題点:そこにあっても価値がどのくらいなのか？

・ バイオマスにおける自由競争の見通し:価値の変動がどのように利用可能性に影響するか
・ ケーススタディ:ニュージーランド、CNIにて価値の認知の変化がバイオマス利用可能性をどのように変えたのか
・ 持続可能性:最も可能にするものと最も制限をかけるもの

解決策
・ 持続可能なバイオマスを確保する為の調達戦略
Matt Boveland, Senior Consultant Bio Solutions Indufor

17:30 - 19:30
全参加者とスピーカーのためのカクテル・デザイナー交流会
協賛企業



9th Biomass Pellets Trade & Power

2018年5月14～17日 / 東京
東京マリオットホテル

プラチナスポンサー



企業スポンサー



主催



www.cmtevents.com

2018年5月16日(水)

本会議 第2日目

- 09:00 司会者のご挨拶
Andrew Crisp, Head of Forestry Consulting Practice for Asia
Pöyry
- 09:05 NPI社のバイオマスに基づいた発電ビジネス
・NPI社のエネルギービジネス最新情報(国内消費において日本で最も発電している(1.8GW)企業の一つ)
・石巻発電所(149MWPCボイラー、30%木質バイオマス燃料)におけるケーススタディ
・日本のエネルギービジネスにおいて木質バイオマス燃料の重要点
Yoshiomi Todo, Director General, Energy Business
Nippon Paper Industries
- 09:35 日本でのFITバイオマス発電所における合法的木材と持続的燃料の課題
Miyuki Tomari, President
Biomass Industrial Society Network (BIN)
- 10:05 パーム油バイオマスの持続可能性の構築について
・パーム油バイオマス等の農業廃棄物から得られた燃料の持続可能性構築の方向性について
・パーム油バイオマスの持続可能性構築について
・革新的なOPTペレットのケーススタディ
Satomi Funahashi, Senior Researcher, Environment & Renewable Energy Manager
Fuji Keizai Co.
- 10:35 交流・休憩@バイオマスペレットトレード・発電の展示会
- 11:00 日本国内におけるIPP及びバイオマス転換プロジェクトへの資金提供/融資基準
Yuji Fukuda, Head of Project Finance Group III, Structured Finance Dept.
Sumitomo Mitsui Banking Corp. (SMBC)
- 11:30 日本におけるIPPバイオマス発電の競争性について
・バイオマス発電所の容量、好ましい燃料タイプとオペレーションについて

- ・日本とアジアにおけるレノバ社のバイオマス・再生可能エネルギー戦略について
Yoshinobu Kusano, Executive Advisor,
Dr. Ha-Yan Lee, Executive Vice President,
Global Business Development, RENOVA
- 12:00 バイオマス発電所の燃料要求
・輸入バイオマスを使用する発電所用バイオマス燃料の要件の検討
・EBEのバイオマス戦略
Ryosuke Kanemitsu, Fuel & Strategy Manager
Equis Bioenergy KK
- 12:30 IPPバイオマス発電所の運用 & 韓国での要件
・韓国のGS EPS 105MWバイオマス発電所の更新
・様々な燃料ミックス(ペレット、チップ、pks、石炭など)に関するプラント運転経験とノウハウ
・日本へのビジネス拡大と韓国でのさらなる105MWバイオマス発電所への事業拡張計画
・期待される燃料需要と長期契約の確保計画
Kyu Ho Song, Manager - Business Development
GS Electric Power & Service (GS EPS)
- 13:00 ディスカッション・交流会・昼食会
- 14:15 午後の部開始のご挨拶
Brodie Govan, Biomass Broker, Voyage Power
- 14:20 タイからのパガス(サトウキビかす)ペレット—北アジアの需要に応える為の新しいバイオマス源
Suwat Kamolpanus, Chairman, Renewable Energy Industry Club, FTI; Managing Director,
Power Business, MitrPhol Sugar Co. Ltd.
- 14:50 ベトナムの木質ペレットサプライチェーン
・備え付けられている製品の収容容積及び位置
・容量成長に対する資源供給の展望と可能性
・港のインフラ
Andy Bui, International Sales Director
An Viet Phat Energy
- 15:20 最終パネルディスカッション—北アジアへのグローバル供給
・日本と韓国への資源はどこに基づいているのか?
・需要を満たすため十分な資源はあるのか?
・日本と韓国への資源供給における違いとは何か?
・アジアにおけるスポット購入と長期ソーシングを比較しての違いについて

- モデレーター:
Brodie Govan, Biomass Broker,
Voyage Power
- パネリスト:
Craig Jackson, General Manager
CellMark Asia
Thomas Meth, Executive VP, Sales & Marketing
Enviva
Roman Romanovsky, Vice President,
Business Development
Russia Forest Products (RFP)
Jamey Hadden, Founder and Director of
Strategic Development, Vision Energy
Oliver Mauss, Managing Director
Asia Resource Partners
Vaughan Bassett, Senior Vice President, Sales & Logistics, Pinnacle Renewable Energy
- 16:20 最終ディスカッション・お茶会
- 17:00 本会議終了

2018年5月17日(木)

～本会議とは別途で予約可能～

本会議終了後の視察訪問
(6:00～18:00)

秋田県秋田市のユナイテッドリニュー
ーアブルエナジー(URE) 20MWバイオマス
発電所(ウッドチップ70%、PKS30%使用)

視察訪問日程表

- 06:00 バスで東京マリオットホテルを出発
- 07:50 飛行機で羽田空港から秋田へ移動
- 08:55 秋田空港到着;バスでUREへ移動
- 10:00 URE(未使用の国産木材(ウッドチップ)と輸入されたPKSを利用した20MW バイオマス専用の発電所)に関するプレゼンテーション及び質疑応答
- 11:00 昼食(稲庭うどん)・休憩
- 12:00 URE発電所とPKS保管所の見学
- 13:45 視察訪問終了;バスで秋田空港へ移動
- 15:50 飛行機で秋田空港から羽田空港へ移動
- 16:55 羽田空港に到着;バスで東京マリオットホテルへ移動
- 18:00 東京マリオットホテルに到着;視察訪問終了

スポンサーや出展者に!
このイベントは、業界の有力者や投資家に、あなたの企業・団体をPRするのに絶好のプラットフォームです。法人スポンサー、昼食会やカクテルパーティー協賛も募集しています。出展/カタログ展示については、ご要望に応じて手配可能です。
お問い合わせは fiona@cmtevents.com または (65) 6346 9138 まで

おまとめチケット	(USD)
おまとめ (事前ワークショップ+カンファレンス+入場) 5月14日～17日(3月29日まで有効)	3785.00
カンファレンス一人当たり料金	(USD)
通常料金	1995.00

一人につき200.00を節約するために登録し、4月29日までに申し込み、お支払いをした際一人につき200ドルお得になります。
また、3人以上申し込みし、4月29日までにお支払いした場合も一人につき200ドルお得になります。

オプション活動	(USD)
5月14日カンファレンス前ワークショップ Site Visit, 17 May (LIMITED seats left!)	1095.00 1295.00

オンライン支払割引(1人当たり)	(USD)
VISA / MasterCardで3月29日までにオンラインで支払い (その他の割引は適用されません。)	100.00

お申込先

HP: www.cmtevents.com
Eメール: huiyan@cmtevents.com
電話: (65) 6346 9113
Fax: (65) 6345 5928

ここに掲載されたプログラムの詳細は、2018年5月21日時点で公開された内容です。スピーカーとトピックの最新情報については www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=180501& をご覧ください。